

コンマ「,」と小数点「.」の見分けがつかない解答が多く見られます。

明確な判断がつかない場合は得点とならない場合がございますので、ご注意ください。

珠算能力検定受験者への注意

○答案記入上の注意

1・2・3 級試験受験者

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
- (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること。
- (3) 無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 0.25 1,427.39 2,905,406
- (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595 ……………0.460	0.46
5.2004 ……………5.200	5.2 (5.20 とは書かないこと。)
- (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

そろばん面
0.45 ……………0.45 .45 (0.450 又は .450 とは書かないこと。)
5.2……………5.2 (5.20 又は 5.200 とは書かないこと。)
- (6) 名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528- 9,528
(¥9,528.0 ¥9,528¥ ¥9,528円 9,528¥のような書き方はしないこと。)
〔注〕 答の頭には円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
- (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
- (11) コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。

4・5・6 級試験受験者

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
- (2) 答の 1 の位又は円の位以上には、3 位ごとにコンマ「,」を付けること、が原則であるが付けなくてもよい。
- (3) 名数の答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
- (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

(例) 123,456

~~123,456~~

- (6) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。

○その他の注意

- (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて計算の準備をしないこと。
- (2) 計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
- (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
- (4) 受験票を紛失したり、忘れたりした場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。